

平成19年度派遣在外教育施設国際交流ディレクター募集要項(追加募集)

文部科学省では、在外教育施設を拠点とした国際交流活動等を積極的に推進するため、その中核的な役割を果たす専任の職員（国際交流ディレクター）を広く募集します。

1. 募集人員： 各派遣先 1名
2. 派遣先： ソウル日本人学校
北京日本人学校
香港日本人学校
上海日本人学校
ローマ日本人学校
3. 派遣期間： 原則として、平成19年4月から平成22年3月まで（3年間）
※文部科学大臣が必要と認める場合には、延長又は短縮する場合があります。
4. 資格：
【全校共通】 次の各条件を満たしている者とします。
 - (1) 国際交流の企画・実施に関する能力・適性を有すること。
（教育・文化・スポーツ交流活動）
 - (2) 国内の教育事情、学校運営に関する識見を有すること。
 - (3) 日本ならびに派遣国の歴史・文化・国際関係等に関する識見を有すること。
 - (4) 派遣時の年齢が原則として30歳以上60歳未満であること。
 - (5) 同伴家族とも心身ともに健康であり、長期間の海外生活に耐えられること。

上記共通事項に加え、各校からの以下の要件を満たす者

【ソウル日本人学校】

- (1) 韓国語による複雑な会話能力を有すること（英語は日常会話程度で可）
- (2) 複雑な日韓関係を良く理解し、歴史・国際関係に深い造詣を有する者

【北京日本人学校】

- (1) 中国語による複雑な会話能力を有すること（英語は日常会話程度で可）
- (2) 配偶者同伴で赴任できる者

【上海日本人学校】

- (1) 中国語による複雑な会話能力を有すること
- (2) 英語による複雑な会話能力を有すること

【香港日本人学校】

- (1) 中国語（できれば広東語）による複雑な会話能力を有すること
 - (2) 英語による複雑な会話能力を有すること
- ※ただし、英語と中国語（普通話）ができれば広東語は必須としない

【ローマ日本人学校】

- イタリア語による複雑な会話能力を有すること

5. 職務内容:

【全派遣先共通】 所属する在外教育施設の実情に応じて、学校運営委員会又は学校長の監督の下で現地関係諸機関や校長と密接な連携を図りながら、在外教育施設における教育・文化・スポーツを通じた国際交流に関する事業の企画及び実施について総合調整し、また、必要に応じ調査、指導、助言又は協力を行う。

主な職務内容は次のとおり

- (1) 児童生徒に対する学校の教育計画に位置づけた在外教育施設における教育・文化・スポーツなどを通じた現地理解・国際理解にかかる交流に関する事業の企画及び実施
- (2) 児童生徒に対する学校の教育計画に位置づけた現地の人々を対象とする日本語教室の開設、日本語教育の支援を企画
- (3) 学校教育に支障のない範囲で、現地の人々に対する学校施設開放事業の企画
- (4) 日本人会等と連携を図った現地社会に対するボランティア活動の企画

上記共通事項に加え、以下の主な職務内容を遂行する

【ソウル日本人学校】

- (1) 職員交流会の企画運営及び職員研修に対するアドバイス
- (2) ソウルジャパンクラブでの活動
- (3) 日本語指導
- (4) 視察団等の対応等

【北京日本人学校】

- (1) 新たな交流相手校の開拓
- (2) 学校運営理事会了解のもと行う現地関係機関との交流等

【香港日本人学校】

- (1) 3校ある日本人学校各々で行う交流活動等の企画・支援・調整業務
- (2) 学校外活動の企画支援・準備支援
- (3) 総領事館文化交流部と連携した香港における日本理解の推進等

【上海日本人学校】

- (1) 現地社会との交流等の企画及び実施等
- (2) 2校ある日本人学校各々で行う交流活動等の企画・支援・調整業務

【ローマ日本人学校】

- (1) 教育文化機能の地域への提供や現地社会に対する貢献・情報提供等の支援
- (2) 他の日本人学校への情報提供や指導助言等

6. 処 遇: (1) 国際交流ディレクターは、文部科学大臣の委嘱をうけて学校運営委員会又は在外教育施設の学校長の下に所属する職員です。
- (2) 国内に所属元（会社、公益法人その他の機関、団体等）がある場合には、当該所属元での身分取扱（派遣・休職・出張等）は、当該所属元が定めるものとします。
- (3) 各在外教育施設国際交流ディレクターの経歴に応じ、文部科学省の定めるところによる、在勤手当、赴任・帰国旅費等を支給します。
- (4) 国際交流ディレクターは雇用契約に基づくものではありませんので、健康保険、年金等は本人が手当てすることとなります。

(5) 任期終了後の就職等の斡旋はしておりません。

7. 応募方法： 次の書類を文部科学省初等中等教育局国際教育課へ郵送（書留）願います。
（志願書は、以下にご請求ください。また、文部科学省ホームページからダウンロードいただき、必要事項をご記入の上提出（書留郵送）することができます。）
（1）在外教育施設国際交流ディレクター志願書
（2）在外教育施設国際交流ディレクター選考調査票
（3）履歴書
（4）健康診断書
（5）所属長の同意書（会社、団体、機関等に所属している者のみ）
8. 応募締切： 平成18年11月24日（金）まで（当日必着）
なお、ご提出いただいた関係書類は返却しませんので、予めご了承ください。
9. 選考： 第一次選考 書類選考（結果は郵便で連絡します。）
第二次選考 面接及び小論文
（日時、場所等は、第一次選考後連絡します。）
10. その他： 第二次選考を通過した内定者に対し、内定者研修会を実施します。
（日時、場所等は、第二次選考通過後連絡します。）

－ 申し込み・問い合わせ先 －

文部科学省初等中等教育局国際教育課 教職員派遣係
〒100-8959 東京都千代田区丸の内2-5-1
TEL: 03-5253-4111 内線(2080)
FAX: 03-6734-3738
E-mail: kokukyo@mext.go.jp

ホームページアドレス

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/f_director.html

別紙様式 1

在外教育施設国際交流ディレクター志願書

平成 年 月 日

文部科学省初等中等教育局長 殿

住 所

氏 名 印

私は、在外教育施設国際交流ディレクターに志願したいので、関係書類を添えて出願します。

派遣希望先（ ）

※派遣希望先を記入すること。

別紙様式 2

派遣先	日本人学校	※ 派遣予定期間	自 平成 年 月 日～至 平成 年 月 日	※ 番号	
-----	-------	-------------	-----------------------	---------	--

在外教育施設国際交流ディレクター選考調査票

写 真 3cm × 3.5cm 正面・上半身 (6か月以内に撮影のもの)	フリガナ 氏 名					印
	生年月日	昭和 年 月 日生 (満 歳)	性別	男 ・ 女		
	フリガナ 現 住 所	〒 () 電話 (- -)				
所 属					職 名	
最 終 学 歴	昭和 平成 年 月	大学	学部・大学院	学科・課程 (専攻) 卒・修了		
職 歴	民間 年	公務員 年	教育研究 年	その他 年		
所有免許状						
海外滞在歴 1月以上の滞在経歴						
外国語能力	英 語 () , 中国語 () , ドイツ語 () 《 》					
特 技			趣 味			
健康状況			既 往 症	有 (病名 年 月) ・ 無		

家族状況	続柄	フリガナ 氏名	生年月日 (年齢)	職業 (勤務先等)	同居・別 居の別	同伴の 有・無	健康状態
	配偶者				同・別	有・無	
					同・別	有・無	
					同・別	有・無	
					同・別	有・無	

志 望 理 由	
------------------	--

派遣期間	身分	1. 出張 2. 休職 3. 退職 4. 休暇 5. その他 ()
中の処遇	給与	1. 有給 (/100支給) 2. 無給 3. その他 ()

※ 摘 要	
-------------	--

【記入上の注意】

- 1 この選考調査表は、選考に際しての基本的資料となるので、楷書体でていねいに記入すること。
- 2 「生年月日」欄の年齢は、平成19年4月1日現在で記入すること。
- 3 「所属」欄には、所属する課、係等の最小単位の名称まで記入すること。
- 4 「職名」欄には、〇〇部長、〇〇室長等具体的な職名を記入すること。
- 5 「職歴」欄は、それぞれ年数を区分に応じ、平成18年8月1日現在で記入すること。
なお、国立大学の教官歴及び国立研究所の研究員歴は「教育研究」欄に算入すること。
- 6 「所有免許状」欄には、所有するすべての免許状（自動車運転免許証を含む。）の名称及び当該免許状の取得年月を記入すること。
- 7 「海外滞在歴」欄には、1月以上の海外滞在経歴があれば、その滞在都市名、滞在期間（始期～終期）及び滞在目的を記入すること。
- 8 「外国語能力」欄は、それぞれについて、仕事での会議や交渉時に支障がない程度の場合には「A」、日常会話程度の場合には「B」、自信がない場合は「C」を（ ）内に記入すること。
また、例示の外国語以外に特に自信がある外国語があれば《 》内に記入すること。
TOEFL等の受験経験を有する場合は、スコアを《 》内に記入すること。
- 9 「特技」欄には、段位等がある場合は、その段位等を記入すること。
- 10 「志望理由」欄には、国際交流ディレクターを志望した理由を簡潔に記述すること。
- 11 「派遣期間中の処遇」欄には、派遣期間中における国内所属先での身分取扱い及び給与の支給について、該当する番号に○印を付すこと。その他の場合は、（ ）内に具体的に内容を記入すること。
- 12 「派遣予定期間」、「番号」及び「摘要」欄には、一切記入をしないこと。

履 歴 書

平成18年8月1日

フリガナ 氏 名		男・女	昭和 年 月 日生 (平成19年4月1日時点満 歳)
フリガナ 現 住 所	〒 () 電話 (- -)		
フリガナ 所 属	本 籍	都 道 府 県	
年 月 日	学 歴 (高等学校入学から記入)		
年 月 日	職 歴 (常勤・非常勤を明記)		

取得した資格	事 項	取 得 年 月	
		昭和 年 平成	月
<p>以上のとおり相違ありません。</p> <p style="text-align: center;">平成 年 月 日</p> <p style="text-align: right;">印</p>			

(記入上の注意)

- 1 この履歴書は、選考に際しての基本的資料となるので、楷書体でていねいに記入すること。
- 2 「所属」欄には、所属する課，係等の最小単位の名称まで記入すること。
- 3 「学歴」欄には、高等学校の入学から、卒業または中退等をした最終学校名（学科・課程）を記入すること。

別紙様式 4

在外教育施設国際交流ディレクター志望者健康診断書				
所 属		職 名		
氏 名			性 別	男 ・ 女
年 齡 (生 年 月 日)		歳 (昭和 年 月 日)		
健 康 診 断 年 月 日		平成 年 月 日		
既 往 症				
身 長 (cm)				
体 重 (kg)				
視 力	右	()		
	左	()		
聴 力	右			
	左			
結 核 の 検 査	間 接 撮 影	撮影年月日	平成 年 月 日	
		フィルム番号		
		所 見		
	直 接 撮 影	撮影年月日	平成 年 月 日	
		フィルム番号		
		所 見		
查	喀 痰 検 査	年 月 日	塗 培	
	聴診、打診その他の検査	年 月 日		

血		圧	/
尿		蛋 白	
		糖	
胃 の 検 査	間 接 撮 影	撮影年月日	平成 年 月 日
		フィルム番号	
		所 見	
貧 血 検 査		血色素量 (g/dℓ)	
		赤血球数(万/mm ³)	
肝 機 能 検 査		GOT (IU/ℓ)	
		GPT (IU/ℓ)	
		γ-GTP (IU/ℓ)	
血 中 脂 質 検 査		総コレステロール(mg/dℓ)	
		トリグリセライド(mg/dℓ)	
心 電 図 検 査		a 異常なし b その他 ()	
その他の疾病及び異常			
総合所見 (A B C D E F)			
特記事項 :			
医療機関名		担当医師名	
		⑩	

(注)

1. 「年齢」の欄は、平成19年4月1日現在の満年齢を記入する。
2. 「健康診断年月日」の欄は、健康診断の全部を終了した年月日を記入する。
3. 「既往症」の欄は、平成18年7月末現在で、肺臓・消化器系・肝臓・腎臓の疾患、頸椎・腰椎・脊椎の打撲について記入し、治癒年月を（ ）書きする。
4. 「視力」から「その他の疾病及び異常」の欄の健康診断の方法及び技術的基準については、学校保健法施行規則第11条第1項の規定によるものとする。
5. 「身長」及び「体重」の測定単位は、小数点第2位で四捨五入し、小数第1位までを記入する。
6. 「視力」の欄は、裸眼視力を（ ）の左側に記入し、矯正視力を検査したときは、これを（ ）内に記入する。
7. 「聴力」の欄は、聴力低下が認められる場合には、○印を記入し、併せて該当する周波数及び聴力レベルを記入する。
8. 「血圧」の欄は、最大血圧を斜線の左に、最小血圧を斜線の右にそれぞれ記入する。
9. 「尿」の欄は、尿中に蛋白又は糖を検出した場合は、それぞれの欄に+等の記号を記入する。
10. 「その他の疾病及び異常」の欄は、疾病又は異常（特に消化器系の異常、目の伝染病の有無）の病名等を記入する。
11. 「総合所見」の欄は、次の所見区分により判定し、○印を付ける。各検査項目の検査の結果、特に注意を要する事項について記入する。

【所見区分】

A：今回検査した範囲内では何等異常所見を認めません。

B：軽微な所見が認められるが病的意味はないと考えられます。

C：軽微な所見が認められるが現在のところ病的なものと断定できません。しかし、病的なものに移行する場合がありますので経過観察の必要を認めます。

D：病的所見である可能性が強いが今回の検査だけで断定できませんので精密検査を要します。

E：軽度ではあるがはっきり病的と言える所見があります。医師の診察の必要を認めます。

F：かなりはっきりした病的所見があります。直ちに医師の診察と治療を要します。

12. その他

- ① この健康診断書の各検査項目の記入内容については、平成18年9月1日現在で検査後3か月以内の検査結果によることができる。
- ② 本診断書は厳封（本人開封無効）の上、本人にお渡しく下さい。

同意書

平成 年 月 日

文部科学省初等中等教育局長 殿

所属先名

住 所

所属長職名

氏 名

印

下記の者が文部科学大臣により在外教育施設国際交流ディレクターとして派遣を決定された場合には、同大臣が同人を在外教育施設国際交流ディレクターに委嘱することに同意します。

記

所属部局（課）

職 名

氏 ^(フリガナ) 名

平成19年度
国際交流ディレクター募集・選考等スケジュール（案）

平成18年5月上旬	19年度派遣要望通知
6月下旬	派遣要望締切（必着）
7月中旬	19年度派遣個所等整理（書類審査）
8月上旬	19年度派遣個所決定
8月中旬	19年度募集要項決定
8月中下旬	公募及び掲載等
11月中下旬	応募締切（必着）
11月下旬	第一次選考（書類審査）
下旬	第一次選考結果・面接選考通知
12月上中旬	第二次選考（面接選考）
	第二次選考結果・通知
平成19年 1月	研修会
4月	委嘱辞令交付・赴任

在外教育施設国際交流ディレクター派遣の推移

国際教育課

平成18年4月1日

学 校 名	平2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
ジャカルタ日本人学校 (インドネシア語)																				
シンガポール日本人学校 (英語)																				
ソウル日本人学校 (韓国語)																				
香港日本人学校 (英語)																				
クアラルンプール日本人学校 (マレー語、英語)																				
ニュー・ヨーク日本人学校／補習授業校 (英語)																				
シカゴ日本人学校／補習授業校 (英語)																				
サンパウロ日本人学校 (ポルトガル語)																				
日本・メキシコ学院日本コース																				
デュッセルドルフ日本人学校 (独語)																				
ブラッセル日本人学校 (フランス語)																				
ドバイ日本人学校 (アラビア語)																				
カイロ日本人学校 (アラビア語)																				
ナイロビ日本人学校 (英語)																				
ブラハ日本人学校 (英語)																				
フランクフルト日本人学校 (ドイツ語)																				
上海日本人学校 (中国語<北京語>)																				
ニュー・デリー日本人学校 (英語)																				
	平2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度